

「福祉用具の活用」 患者家族教室実施



11月20日に患者家族教室を行いました。
今回は作業療法士より「福祉用具の活用」というテーマで普段の生活でかかせない食事と入浴について行いました。

ベトナムより新しい 技能実習生が来られました！



12月25日よりベトナムから、新たに外国人技能実習生を2名受け入れました。当院は現在、6名の技能実習生が勤務しております。お二人を含め、6名全員に前向きに明るく頑張ってもらえるよう、職場も一丸となって全力で支援を続けていきたいと思ひます！

5年ぶりの 成果発表会開催！



11月25日に第9回目となる「成果発表会」を行いました。
多職種チーム活動、委員会活動、研究成果を報告・共有する場でした。それぞれがPDCAサイクルを回し取り組んだことを学び合う機会となりました。

第12回 写真コンテスト開催！

今回は「自然」をテーマに募集しました。

最優秀 井上 愛 (医師)

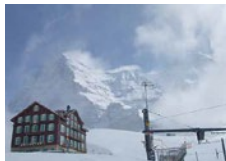
作品タイトル
「高千穂(真名井の滝)」

宮崎のリハ学会、高千穂に寄りたいがため車を運転して行ってきました。遠かった。



優秀 山下 哲子 (診療放射線技師)

作品タイトル「スイスの白い息」



佳作 林 菜名 (医療事務)

作品タイトル「梓の中の秋」



SORABITOを知る！

Vol.

Relay Interview 05

リレーインタビュー

リハビリテーション部



福島 大地

600kgの神輿と仲間たち

私は毎年10月に行われている道後の秋祭りに参加しています。
この祭りは五穀豊穡、家内安全、商売繁盛を祈って執り行われる伝統行事で多くの人たちが集まり八町八体の600kg近くある神輿を担いでのぶつかり合う【鉢合わせ】は迫力満点で魅力です。
私にとって祭りは忙しい日常を忘れ、大切な仲間と過ごせる大事な1日です。
もし見に行く際には是非私を探してみてください！

NEXT! 次号 Vol.06は… 医事課のsorabitoへ！

基本方針

患者さん中心の医療 「笑顔であいさつ」を心掛け、患者さん中心の心の通った医療を行います
質の高いチーム医療 「専門職としての知識・技術の向上」に努め、質の高いチーム医療を実践します
地域に貢献できる医療 「ともに生きる」の精神で、地域の皆さまと安心して暮らせるまちづくりに取り組みます

医療法人同仁会
おおぞら病院
OOZORA HOSPITAL



〒791-8555 愛媛県松山市六軒家町4-20 FAX 089-989-6619

TEL **089-989-6620** (代表) 平日 9:00～17:00 (休診日を除く)

JR	JR松山駅より タクシー約3分 または伊予鉄市内電車に乗換
伊予鉄電車	伊予鉄市内電車・城山線 萱町六丁目駅下車 徒歩約5分 伊予鉄郊外電車・高浜線 古町駅下車 徒歩約10分
バス	勝岡・運転免許センター線 北宮西町バス停 徒歩約3分



WEB



おおぞら病院 広報誌「そら」

SORA

そら

Vol. **37**

2025.01

TAKE FREE

「特集」わたしたちのやりがい

“3F病棟・医局・薬剤部・医事課”

おおぞら病院で働く人たちにインタビュー

リレーインタビュー 福島 大地

600kgの神輿と仲間たち

最近の出来事

患者家族教室を実施

技能実習生の受け入れ 他

「大好評」

写真コンテスト結果発表！

第12回 テーマ「自然」

MESSAGE

明けましておめでとうございます。
新しい年が、穏やかな笑顔に包まれた1年になりますように願っております。
昨年は、病院機能評価の更新、学会発表・院外研修参加、成果発表会開催など、学習意欲を高める活動や、病棟デイケアの充実、イベントの開催、患者家族教室の開催、地域での健康啓発活動の推進など、患者・家族へのサービス提供ができました。
今年は、巳(へび)年です。力を蓄えていたものが芽を出す「起点」の年、脱皮する特性と合わせ「再生と誕生」を意味し、再生や変化を繰り返しながら、柔軟に発展していく年になると考えられます。2月には、移転後10周年を迎え

る節目の年になります。地域が求める病院の役割に適応する組織作りや、健康で働きやすい職場環境の醸成に向けスタートをきります。
看護部は、患者さん一人ひとりと向き合い、寄り添い、生活の質を向上できるよう支援しています。今年は、看護の継続サービスを図るため、退院指導や退院後のフォローとして何ができるのか柔軟な発想で考え行動していきたいと考えています。また、看護職員がやりがいを持ちいきいきと看護実践でき、仲間と語りお互いを励まし成長できる働きやすい職場づくりを目指します。
地域に根ざした病院として信頼され安心していただけるよう、より一層努力してまいります。



おおぞら病院
看護部長

友澤 永子
(認定看護管理者)

特集

Initiatives at Oozora

おおぞら病院職員に聞く わたしたちのやりがい

約280人の職員が働いているおおぞら病院。

職員たちはどのような仕事をし、どのような思いで働いているのか。

各部署の代表者に仕事のやりがいについてインタビューをしました！シリーズでお届けします。



Interviewee

3F病棟 看護師
福岡 董さん

日常の業務内容

患者さんが病気になる前の状況に近くなり、早く退院できるよう、日常生活をサポートしながら支援をしています。

やりがいを感じる時

患者さんやご家族の意向に寄り添い、退院後の生活をイメージして多職種で支援を進め、笑顔で退院される姿をお見送りできた時です。

趣味・マイブーム

キャンプが趣味です。非日常的な環境の中でゆっくりと過ごす時間はリフレッシュできます。焚火や温かい料理で体を暖める冬のキャンプはより魅力的です。

Goal 目標

春から後輩が入職してきます。自分自身がまだ未熟で不安はありますが、先輩からのサポートも受けながら、後輩と共に成長していきたいと思っています。

Interviewee

医局 医師
梶原 佳則さん

日常の業務内容

午前は外来診療、午後は病棟診療と往診です。主に脳疾患の患者様およびその原因となる生活習慣病の治療を担当しています。

やりがいを感じる時

担当した患者さんが元気になって、自宅復帰、社会復帰できたときです。

趣味・マイブーム

レコード鑑賞、主に欧米のロック・フォークです。普段はサブスクやCDですが、休みの日にゆっくり聴きたいときは、やっぱりレコードが好きです。

Goal 目標

外科医として手術は引退しましたが、今までの経験を生かして、リハビリテーションや地域医療に貢献していきたいと思っています。

Interviewee

薬剤部 薬剤師
青木 浩二さん

日常の業務内容

調剤、服薬指導、薬品の在庫管理、電子カルテや調剤システムの保守などを日常業務としています。またチーム活動では医療安全、感染対策などに参加しています。

やりがいを感じる時

カンファレンスなどで自分の提案が採用され、それにより、患者さんの病状やQOL(Quality of life)が改善したときはうれしく、やりがいを感じます。

趣味・マイブーム

泳ぐことが好きで、仕事終わりに病院近くの市民プールでよく泳いでいます。子育てが一段落したら何かしら社会人スポーツサークルに入ろうと計画中です。

Goal 目標

患者さんからはもちろんのこと、職員からも信頼されるような薬剤師を目指したいです。口だけにならないよう、院内で求められる資格取得などに努めたいです。

Interviewee

医事課 医療クラーク
中島 里菜さん

日常の業務内容

私は医療クラークをしています。医療事務を中心とし診療録の支援、データ入力、文書作成の代行、患者対応を行っています。

やりがいを感じる時

医療クラークの仕事は患者さんと直接関わることが多く、その中で感謝を伝えてもらう機会もあります。その際人の役に立てていると実感でき、やりがいを感じています。

趣味・マイブーム

趣味は音楽鑑賞です。流行りの曲や好きなアーティストの曲など気分に合わせて色々な曲を聴いて気分を上げています。

Goal 目標

今まで以上に先生方が医療業務に集中できるようサポートしていきたいです。また他職種の方達とも連携をしっかりとって円滑に業務が進められるように努めたいと思います。